

川崎市農政情報誌

～第11号～

かわさきそだち

～『農』のあるライフスタイルをめざして～

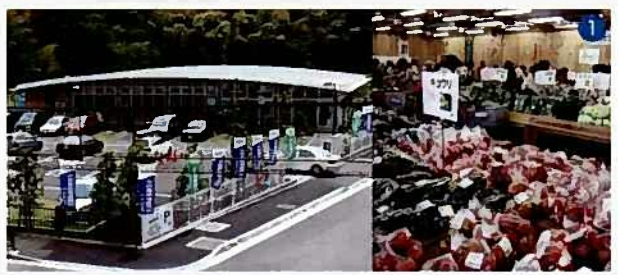
発行 川崎市農業振興センター
〒213-0015
川崎市高津区梶ヶ谷2-1-7
電話 044-860-2462
FAX 044-860-2464



かわさきそだち

農産物共同直売所 のご紹介

川崎市には、新鮮、安全、安心で生産者の顔が見える川崎市内産農産物「かわさきそだち」を販売している共同直売所が15箇所あります。



- ① セレサモス
- ② 中原直売所
- ③ 高津直売所
- ④ 向丘直売所
- ⑤ 宮前直売所
- ⑥ 宿河原直売所
- ⑦ 菅直売所
- ⑧ 生田直売所
- ⑨ 生田駅南口直売所
- ⑩ 百合ヶ丘直売所
- ⑪ 新百合ヶ丘直売所
- ⑫ 柿生直売所
- ⑬ 五月台直売所
- ⑭ 栗平直売所
- ⑮ 岡上直売所

市内産農産物「かわさきそだち」シンボルマーク



シンボルマークは、多摩川の青、大地の緑、朱色は生産者と市民が「かわさきそだち」を育てていくことを表しています。

川崎市では、消費者が身近に存在する都市農業の有利性を活かし、生産者と消費者がお互いに顔が見える関係作りや、消費者が新鮮・安全で安心して購入できる農産物の生産を推進するため、JAセレサ川崎、農業者とともに地産地消活動を進めています。

(お問い合わせ)

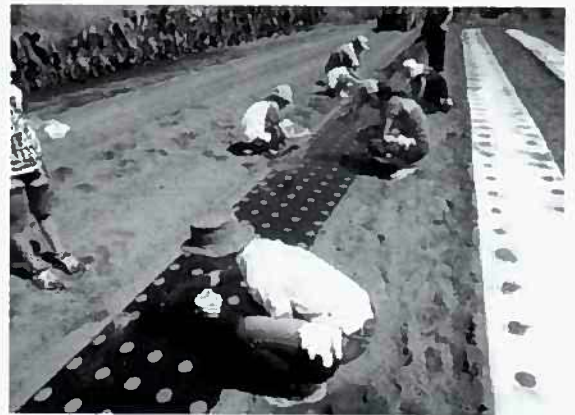
川崎市農業振興センター農業振興課 電話 860-2462 FAX 860-2464

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasakinonogyo.htm>

(『かわさきの農業』で検索)

「秋野菜を作って鍋料理を楽しもう！」企画を実施しました。

9月4日(土)にJAセレサ川崎と共催で「秋野菜を作って鍋料理を楽しもう！」企画第1回目が麻生区黒川の畑で開催されました。参加者は親子9組でダイコン・カブなどの種まきを行いました。この企画は9月4日(土)、10月9日(土)、11月13日(土)の3回にわたって行われ、ダイコン・白菜・カブなどの種まき、苗の定植作業、間引き作業という野菜づくりの一連の作業を親子で体験するとともに、最終回の11月13日に自分で収穫した野菜で鍋料理を作ります。



各賞の受賞者

- 川崎市梨・ぶどう品評会(前期の部) 8月16日
神奈川県知事賞(梨) 白井正壽(多摩区菅稲田堤)
川崎市長賞(ぶどう) 小林明正(多摩区堰)
- JAセレサ川崎「花の品評会」5月21日
神奈川県知事賞(切花) 吉田恵一(宮前区馬絹)
川崎市長賞(枝物) 名古屋徹(宮前区馬絹)
- 川崎市梨・ぶどう品評会(後期の部) 9月3日
神奈川県知事賞(梨) 白井正壽(多摩区菅稲田堤)

募集案内

◆「かわさきそだち栽培支援講座」の受講生を募集します!

講座期間 平成23年4月から平成25年3月までの2年間
場 所 農業技術支援センター及び市内生産者ほ場
内 容 野菜栽培に関する基本的な講義及び実習
募集人数 20名(応募者多数の場合は抽選)
応募資格

- ①市内在住で65歳以下の方
- ②講座修了後、援農(農家への手伝い)に参加できる方
- ③野菜栽培に興味や関心のある方

応募期間 平成22年11月1日(月)から
平成22年11月30日(火)まで

お問い合わせ 農業技術支援センター 電話 945-0153
ホームページでもご案内しています。

<http://www.city.kawasaki.jp/28/28nougic/home/top.htm>

◆平成23・24年度の市民農園利用者を募集します!

※ 農園の場所や応募方法については「市政だより(12月1日号)」をご覧ください。

※ 応募者多数の場合は抽選となります。

お問い合わせ 農業振興課 電話 860-2462

◆かわさき「農」の新生プラン

推進会議市民委員を募集します!

川崎市では、本市農業振興計画である「かわさき『農』の新生プラン」を推進するため「かわさき「農」の新生プラン推進会議」を設置しています。そこで農業施策を協議・検討していただく市民委員を募集します。

募集人数 3名

任 期 平成23年4月～平成26年3月

詳細については、12月1日号市政だより、農業振興センターホームページ「かわさきの農業」をご覧ください。

お問い合わせ 農業振興課 電話860-2462

農業委員会事務局からのお知らせ

<農業委員会委員選挙人名簿の登載申請について>

川崎市農業委員会では農業委員会等に関する法律に基づき、毎年1月1日現在における農業委員会委員選挙人名簿の調製を行っています。この名簿は農業委員選出に係る選挙資格を登録するもので、申請に基づき資格調査を行っています。次の資格要件を満たす方は、「選挙人名簿登載申請書」に御記入・捺印のうえ農業委員会事務局またはJA セレサ川崎各支店に提出して下さい。

申請書・提出方法等、詳細につきましては、JA セレサ川崎各支部又は川崎市選挙管理委員会から通知いたします。なお「選挙人名簿登載申請書」の提出期限は1月7日です。

資格要件

平成23年1月1日現在、川崎市に住所を有し、年齢が20歳以上（平成3年4月1日以前に出生）の方で次の①又は②に該当する方。

- ① 10アール（1,000㎡）以上の農地を耕作する農業経営者
- ② 前記の農業経営者と同居する親族またはその家族またはその配偶者で、年間概ね60日以上耕作に従事する方



【お問い合わせ 川崎市農業委員会事務局 電話 860-2461】

農 業 技 術 情 報

越冬病害虫の防除について

春から秋にかけて見かけた病気や害虫も、今は冬ごもりをしています。暖かくなって活動を再開する前に退治しておけば、翌春以降の被害を減らすことができます。ここでは、冬の間にできる病害虫の防除方法を紹介します。

病 害 虫	防 除 方 法
うどんこ病	落葉を集めて処分する。
落葉病（カキ）	
黒とう病（ブドウ）	せん定時に巻きひげを取り除く。せん定くずを適正に処理する。
ハダニ	せん定により日照・通風を良くする。
カイガラムシ	*マシン油を散布する。
カメムシ	虫をブラシなどでかき落とす。
スカシバ	落葉を集めて処分する。
アブラムシ	粗皮（枝の分かれ目などのゴツゴツした樹皮）を削り取る。
アザミウマ	畑の周辺の除草を行う。



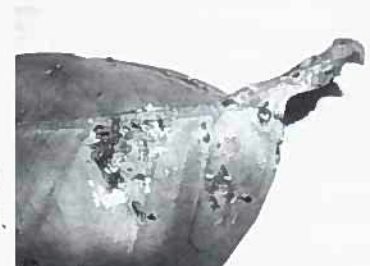
上：カメムシの仲間
吸汁された果実は、表面に凸凹が生じたり、果肉がスポンジ状になります。エダマメなどの野菜類も加害します。



右：ヤノネカイガラムシの成虫（ミカン）
果実や葉に付着し、果実の着色不良やすす病を発生させます。



左：スカシバの幼虫（カキ）
枝の分かれ目などにもぐり、樹皮を食害します。



※マシン油は、体の表面に油膜を作ることで害虫を窒息死させるものですから、むらのないよう丁寧散布することが重要です。また、使用法を誤ると作物を傷める恐れがありますので、製品のラベルをよく読み、使用時期や希釈倍率を必ず守ってお使いください。



お宅訪問!!かわさきの農家

11

今回は、宮前区菅生ケ丘の大木孝一さんのお宅を訪問しました。大木さんは弟の貴生さんと共に父の豊さんの後継者として大木養鶏場を経営しています。

大木養鶏場では2,800羽を養鶏し、餌や水(井戸水)にこだわりを持つほか、毎年半数の1,400羽を入れ替えるなど、「より良い質、とにかくいいものを出したい」と語る大木さん。

昨年は、事務所兼選別場を設置。最新の選別機を導入し、作業の効率化を図るだけでなく、消費者の方に選別をしている様子が見える工夫もされていました。直売所を午前中に訪ねると選別の様子を見ることができます。

オリジナルブランド「HE-BARANO MEGUMI」は、地元「稗原」の地名を地元の人は「へーばら」と言うところから命名。養鶏場の看板や贈答用タマゴのパッケージには有名ブランドを参考にしたデザインが用いられていて、たいへん高級感が出ています。タマゴは直売所や自動販売機での販売のほか、贈答用の発送やお寿司屋、洋菓子屋へ卸しているそうです。今年の1月からは洋菓子屋とのコラボで「HE-BARANO MEGUMI」を材料にしたロールケーキの販売を開始するなど、今後の事業展開が楽しみです。



自動販売機には毎日新しいタマゴをいれています。



HE-BARANO MEGUMI



大木養鶏場の看板

かわさきとだちでクッキング

かぼちゃ入り上新粉蒸しケーキ

☆材 料(18センチリング型)

上新粉	100g
ベーキングパウダー	小さじ 1/2
卵	3個
砂糖	100g
かぼちゃ	100g
サラダ油	大さじ 1
バニラエッセンス	少々



☆作り方

- ① 上新粉とベーキングパウダーを混ぜ合わせる。
- ② 卵3個は卵黄と卵白に分け、卵白は角が立つ程度に、卵黄は砂糖を加え、白っぽくなるまで泡立てる。
- ③ かぼちゃは皮をむき、少なめの水でやわらかく煮て、つぶしておく。
- ④ 卵黄にサラダ油・バニラエッセンスを加え、泡立てた卵白の中に入れる。さらに①の上新粉を混ぜ、最後に③のかぼちゃを加えて、さっくりと混ぜ、型に流し入れる。
- ⑤ 湯気の上だった蒸し器に入れ、強火で15分蒸す。
- ⑥ 竹串を刺してみても何も付いてこなければ、出来上がり。

レシピ提供：川崎市女性農業担い手の会 あかね会

川崎市農業実態調査にご協力ください。

川崎市とJAセレサ川崎では、本市農業の実態を把握するため、市内農家の方を対象に作付状況などを調査させていただきます。12月中旬に調査票を配布し、平成22年中の作付実績などについてお答えいただく予定にしておりますので、調査のお願いにあがった際にはご協力をお願いいたします。

お問い合わせ 農業振興課 電話 860-2462

「農」に関するご意見・ご感想や農のある風景(写真)等、皆様からのお便りをお待ちしております。郵送、ファックスもしくはメールにて送付してください。(〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7 JAセレサ梶ヶ谷ビル2階 川崎市農業振興センター ファックス 044-860-2464 Eメールアドレス 28nogyo@city.kawasaki.jp)

また、『お宅訪問!!かわさきの農家』の取材にご協力いただける方も随時、募集中です。

ホームページアドレス <http://www.city.kawasaki.jp/28/28nogyo/home/nogyo/kawasaki/nonogyo.htm>
(『かわさきの農業』で検索)